

学校教育目標・学校経営方針

校 訓

『なかよく』 『かしこく』 『たくましく』

学校教育目標

『知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成』

めざす学校像

- 学ぶ喜びのある学校
- 思いやる心が育まれる学校
- 安心安全な学校
- 地域に開かれた学校

めざす子ども像

- ☑ 助け合う子ども
- ☑ まじめに努力する子ども
- ☑ はげんで学ぶ子ども
- ☑ たくましい子ども

めざす教師像

- 「わかる授業・楽しい授業」をする教師
- 愛情を持って児童と接する教師
- 資質向上に努める教師
- 職員集団の信頼と輪を大切にする教師

学校経営方針

『学びあい 想いあい 笑いあえる学校づくり』

～通って良かった，通わせて良かった，勤めて良かった，地域にあって良かった玉幡小～

【学級経営の充実（居場所のある学級づくり）】 【笑顔で声かけ・共感する姿勢】

★ 教師と児童，児童相互のよりよい人間関係づくり ★

教育活動の重点 ～具体的な取組～

1 より良い授業づくりを通して，確かな学力の育成に努める。

- ・「玉小スタイル」「玉幡小学校学習ルール」の徹底
- ・『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な授業づくり
- ・ICTの有効活用
- ・体験活動の充実
- ・家庭学習の習慣化 <「がんばるカード」の活用>
- ・校内研究，研修の充実

2 豊かな心，思いやりの心の育成に努める。

- ・自己有用感，自己肯定感，安心感の得られる学級・学校づくり
- ・児童会を中心とした縦割り班活動の実施
- ・全教育活動を通しての道徳教育の推進
- ・読書活動，歌声タイムの充実

3 児童の体力向上と健康増進に努める。

- 運動の日常化による基礎体力づくり
- 給食指導における食育の充実と実践
- 基本的な生活習慣の確立を目指した保健指導

4 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の実施に努める。

- 児童の実態に応じた特別支援学級の効果的な運営
- 通常学級に所属している配慮が必要な児童への支援
- 校内特別支援委員会の活用
- 保護者や専門機関、関係機関との連携

5 児童にとって、安全・安心な学校づくりに努める。

- 防災、防犯、交通安全教育の推進と安全管理体制の充実
- 様々なケースに対処するための防災訓練、緊急時対応訓練の実施

6 保護者や地域に開かれた学校づくりに努める。

- 各種たより、ホームページ、メールなどによる情報発信
- 授業参観、学校行事などの教育活動の公開
- 学校運営協議会、PTAとの連携
- 地域の教育資源の活用
- 幼稚園、保育園、中学校との連携

特色ある学校づくりの柱

☆玉幡小3つの宝の取組

「ノーチャイム」

「集中清掃のための無言清掃」

「日本一の廊下」